

はばたき21相談室【ファイナンシャル・プランナー相談】事業 【台東区】

個別事業費	40 千円
交付金額	20 千円

地域の実情と課題

自営業者や中小企業・小規模企業が多く、家族従事者として働く女性の割合が、東京都の平均と比較し高いという特徴がある。女性の就業・登用・起業の機会拡大、ワークライフバランスの実現、子育て世代・介護者への相談支援の充実が課題である。

事業の特徴

相談者の約71%が非正規・無職であり、またDV相談の被害女性の多くが経済的に自立していないことに起因し、別居・離婚・養育等の問題を自己決定できず解決をあきらめていたり、相談支援の過程で行き詰まったり相談が途切れるなど、問題解決が進まないケースが少なくない。そこで就労、自立、加害状況からの解放等のインセンティブとなる相談支援の取組みとしてファイナンシャル・プランナー相談を新規に開始した。SNSや面接・電話等の相談、女性相談において抽出されたDV被害者や困難女性FPの助言を得て中・長期の経済的将来設計を見える化し、必要な手続き、行政サービスや就労へつなげる。

事業の効果

DV被害による離婚等でひとり親として子の養育や将来に不安を抱くケース、配偶者の浪費や借金で経済的苦境にあるケース、独居で精神的疾患があり就労が難しく生活に不安を抱えるケースについて、相談者の希望により、FP相談を実施。資産、収入、公的年金、公的給付制度、社会保険料や税などの情報を勘案し、相談者の生活について経済的側面からFPが客観的評価を行い、生活設計や課題の優先順位などについてアドバイスした。個別ケースのアセスメントにFPの助言を活かすことにより、相談者の抱える課題に対し相談者自身の経済状況の評価を勘案してアセスメントを導くことで、より包括的且つ相談者に寄り添った支援を図ることが可能となった。

目的・目標

DV被害者や困難女性に対し、ファイナンシャル・プランナー相談を新規に実施することにより、中・長期の経済的将来設計を見える化し、必要な行政サービスや就労へつなげ、ひいては女性が自らの意欲と能力をもって進路や生き方を決定できる社会を実現する。

	目標・KPI	目標	実績 (8年3月時点)	達成率
事業 目標	ファイナンシャル・プランナー 相談件数	8件 (アウトプット)	3件	37.5%
事業 KPI	SNS相談等、他の相談事業と の連携件数	8名 (アウトプット)	3名	37.5%

連携団体

東京都しごと財団・ひとり親家庭支援センター、ハローワーク、マザーズハローワーク、本区、東京都、他の市区町村の配偶者暴力相談支援センター、子ども家庭支援センター、東京都児童相談センター、警察署、教育委員会、保健所・区内医療機関、市区町村の生活保護担当 等

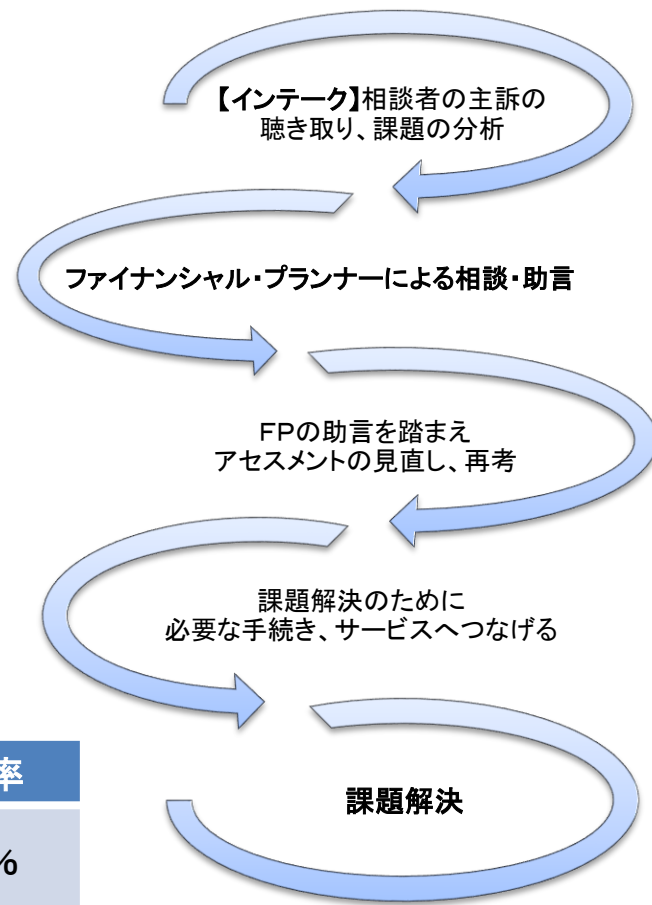
今後の課題

相談件数が少なかった要因として「ファイナンシャル・プラン」の認知度が低かったこと、女性相談支援員がこれまで経済的な視点をアセスメントに取り入れた経験が乏しく、相談者への案内が効果的に行われなかったこと等が影響したと考察される。経済的基盤が課題解決の障壁となっている等の場合は、経済的視点をアセスメントに取り入れ積極的にFP相談を活用するよう、女性相談支援員の理解を形成する事が課題である。またSNS相談や、連携機関の窓口で把握した困難女性についても、FP相談の活用を庁内連携の枠組みで促進し、包括的な相談支援を進めていく。

はばたき21相談室【ファイナンシャル・プランナー相談】

DV被害者や困難女性の相談者は、経済的に自立していないことに起因し、別居・離婚・養育等の問題を自己決定できず解決を諦めていたり、相談支援の過程で行き詰まり相談が途切れるなど、問題解決が進まないケースが少なくない。就労、自立、加害状況からの解放等のインセンティブとなる相談支援の取組みとして、ファイナンシャル・プランナー相談を新規に実施した。

SNS相談、面接・電話・オンライン相談や女性相談において抽出されたDV被害者や困難女性に対し、相談者の中・長期の経済的将来設計を見える化し、必要な行政手続きやサービス、就労へつなげる。



結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	ファイナンシャル・プランナー相談件数	8件 (アウトプット)	3件	37.5%
事業KPI	SNS相談等、他の相談事業との連携件数	8名 (アウトプット)	3名	37.5%